

去る令和5年2月16日に、愛媛県支部設立総会を開催し、愛媛県知事、自由民主党の衆議院・参議院の国会議員、愛媛県議会議員、松山市議会議員の皆様にご列席を賜り、合わせてマスコミ各社の取材も頂きました。

ご尽力を賜りました関係各位に、心より感謝申し上げます。

今後の活動としては、愛媛県内20市町の介護現場の声を細やかに聴き取り、行政各所との意見交換等を行い、会員の皆様と共に進めていきたいと考えております。

愛媛県は東部・中部・南部の3エリアに分かれている県で、それぞれのエリアで風土や文化に特色があり、介護現場で抱える課題も様々ですが、関係各所とコミュニケーションを取り、地方の現場で隠れている声を集約し、介護現場がより良くなるために活動して参ります。

今後、一般社団法人全国介護事業者連盟が、全国の都道府県に支部が設立され、更に組織拡大できるよう努力を致しますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

【プロフィール】

河本 英樹（かわもと ひでき）

株式会社ヨシケンコーポレーション代表取締役

松山倫理法人会 顧問

松山センチュリーライオンズクラブ 副会長

NPO 法人 Link 愛媛 代表理事

日本産業技術協同組合 代表理事【外国人技能実習生監理団体】

ミャンマー連邦共和国外国人技能実習生送り出し機関 CEO

一般社団法人全国介護事業者連盟四国支部 副支部長

一般社団法人全国介護事業者連盟愛媛県支部 支部長

松山市議会議員 環境企業委員長

◆これでわかる！「ケアプランデータ連携システム」オンライン無料セミナーを開催いたします（2023年4月24日）

<http://kaiziren.or.jp/event/request/2023/event0424/>

◆「奈良県支部 設立総会・記念講演」を開催いたします（2023年5月20日）

<http://kaiziren.or.jp/event/request/2023/nara20230520/>

◆介護施設における3:1人員配置要件緩和について～無料オンラインセミナー～

主 催：株式会社EMシステムズ

日 時：4月28日（金）16:00～17:00

講 師：一般社団法人全国介護事業者連盟 理事長 斉藤正行

お申し込みはこちらからお願いいたします

https://zoom.us/webinar/register/6916795486096/WN_QLdTDt0RSTSS5YBaW4H5pg

◆医学通信社 2023年新刊書籍（特別価格）のご案内（※4月28日締め切り）

<http://kaiziren.or.jp/wp/wp-content/uploads/2022/12/igakutusin20221222.pdf>

◆全国介護事業者連盟公式チャンネル 介護チャンネル

【特別対談】『デジタルタトゥー』介護・福祉業界 風評対策について

<https://www.youtube.com/watch?v=doWVSC8D2uA>

介護チャンネル 登録者 10,000 人達成 ありがとうございます！

<https://www.youtube.com/watch?v=sDsxWjWl6xA&t=5s>

障害福祉事業者は必見 サビ管・児発管の配置要件が緩和

<https://www.youtube.com/watch?v=CxLs1iDlApA>

【特別対談】厚労省 老健事業 委員会 報酬改定はどのようにして決まる

<https://www.youtube.com/watch?v=Eh60SCW4gB4>

【全国介護事業者連盟動向】

3月13日 第5回 AIR 介護（介護 DX）推進検討部会の開催（東京都 オンライン）

3月13日 『物価等の高騰を踏まえた追加経済対策における介護分野へのさらなる支援について』自由民主党 地域包括ケアシステム・介護推進議員連盟に要望書を提出（東京都）

<http://kaiziren.or.jp/wp/wp-content/uploads/2023/03/chiikisaishuu.pdf>

3月14日 第6回外国人材活用推進検討部会の開催（東京都 オンライン）

3月16日 第2回事務局会議の開催（東京都 オンライン）

3月16日 日台介護事業有効支援物資 寄贈式の開催（東京都）

3月16日 第1回全国支部長会議の開催（東京都 オンライン）

3月17日 岩手県支部幹事会の開催（オンライン）

3月17日 奈良県支部幹事会の開催（オンライン）

3月20日 厚生労働省『文書負担軽減や手続きの効率化による介護現場の業務負担軽減に関する調査研究事業』第3回調査研究委員会に理事長が出席（オンライン）

3月20日 東海支部・愛知県支部・三重県支部・静岡県支部・障害福祉事業部会 愛知県支部幹事会の開催（オンライン）

3月20日 厚生労働省『地域の特性に応じた訪問介護サービスの提供体制のあり方に関する調査研究事業』第3回検討委員会に理事長が出席（東京都）

3月22日 厚生労働省『標準仕様を活用したケアプランデータ連携活用促進のための調査研究』第3回検討委員会に理事長が出席（東京都）

3月24日 厚生労働省『通所介護・地域密着型通所介護・認知症対応型通所介護における効果的な機能訓練のあり方に関する調査研究事業』第5回検討委員会に理事長が出席（オンライン）

3月24日 島根県支部幹事会の開催（オンライン）

■ 厚生労働省ニュース/内閣府ニュース

社会保障審議会障害者部会（第135回）

https://www.mhlw.go.jp/stf/shingi2/0000195428_00062.html

第 215 回社会保障審議会介護給付費分科会（web 会議）資料

<https://www.mhlw.go.jp/haishin/u/l?p=v1srkuQxagB30RAtY>

全国介護保険・高齢者保健福祉担当課長会議資料

<https://www.mhlw.go.jp/content/12300000/001068286.pdf>

物価・賃金・生活総合対策本部（第 8 回）（35.36 ページ）

<https://www.cas.go.jp/jp/seisaku/bukka/dai8/siryou.pdf>

全世代対応型の持続可能な社会保障制度を構築するための健康保険法等の一部を改正する法律案

<https://www.mhlw.go.jp/content/001056106.pdf>



介護・障害福祉ニュース

介護予防支援、ケアマネ事業所も担い手に 2024 年度から 改正案の審議始まる

<https://www.joint-kaigo.com/articles/7760/>

ケアプランデータ連携システム、来月 1 日から利用申請の受付開始 20 日から本格運用＝厚労省

<https://www.joint-kaigo.com/articles/7466/>

「通所介護は自立支援の最適なサービス」 事業者団体が“価値の再定義”を要請

<https://www.joint-kaigo.com/articles/7699/>

厚労省、介護施設・事業所に職員の賃金水準の公表を求める方針 2024 年度から

<https://www.joint-kaigo.com/articles/7667/>

今年度分の処遇改善加算の実績報告書、様式はこちらです。厚労省が修正版を公表

<https://www.joint-kaigo.com/articles/7649/>

自民、物価高騰の追加対策を提言 医療・介護現場の負担軽減策も盛り込む

<https://www.joint-kaigo.com/articles/7564/>

大島厚労事務次官、介護報酬改定の重要課題は物価高騰や処遇改善 「根本的な考え方を変えて臨む」

<https://www.joint-kaigo.com/articles/7394/>

介護保険外サービス 信頼性確保策も検討 経産省

<https://www.silver-news.com/ps/qn/guest/news/showbody.cgi?CCODE=12&NCODE=4320>

2024 年医療・介護・障害福祉 同時改定／斉藤正行氏

https://www.koureisha-jutaku.com/newspaper/synthesis/20230201_04_1/

介護事業所の指定取消・停止処分、昨年度 105 件 報酬の不正請求が最多＝厚労省

<https://www.joint-kaigo.com/articles/7357/>



■ 賛助会員広告【 芙蓉総合リース株式会社 】

【介護事業者様向け 無料 Web セミナーのご案内】

介護事業者がM&Aを活用するためには？

年々、競争が激化する介護業界。

異業種からの新規参入事業者も含めて、M&Aによる事業展開が活発化しています。

医療・介護専門のM&A仲介会社が語る、介護事業者がM&Aを活用する方法とは？

介護業界のM&A最新動向から、活用のポイント、活用事例まで、医療・介護業専門のM&A仲介会社が講師となり、徹底解説いたします！

皆さまのご参加を、心よりお待ちしております。

《セミナー情報》

主 催：シャープファイナンス株式会社（芙蓉総合リースグループ）

日 時：2023 年 4 月 25 日（火） 18：00～19：00

形 式：Web セミナー

参加費：無料

講 師：株式会社C B パートナース

↓詳細情報・ご参加のお申込みは以下の URL ページにてご確認ください↓

<https://medicallives.com/seminar/s00006/>

【本件のお問い合わせ先】

シャープファイナンス株式会社（芙蓉リースグループ）

医療マーケット企画部 Medical LIVES 事業室

TEL : 0120-18-3162



■ 編集後記

「気負わず」「緩く」が継続のカギ

地域向けイベントは「自分が楽しむ」ことも重要

関西のある地域では、2020 年 4 月から住民主体のラジオ体操をほぼ毎日実施してきました。

今年 3 月下旬までの累計参加者は、高齢者を中心に約 1 万 2000 人。介護予防や健康増進、安否確認などで大きな効果を出しているそうです。

新型コロナ禍で、高齢者の運動機能・認知機能低下が全国で課題になっています。

その解決に向けて、地域住民向けの交流・運動イベントを運営している介護事業所もありますが、「継続・安定して運営できない」という課題を抱えるところも多いようです。

ラジオ体操を実施する地域の町会長は、3年間継続できた理由を「個々の役割や細かいスケジュールを決めないなど『緩い』気持ちで運営した」と分析します。

それに対し、介護事業者の場合は「地域の役に立たなくては」という想いが強く、イベントの企画・運営に際してプレッシャーになっているのではないのでしょうか。

気負わず、肩の力を抜くこと、「自分が楽しむ」ことが地域向けイベント継続のカギといえそうです。

【配信元】一般社団法人全国介護事業者連盟 <http://kaiziren.or.jp/>

〒102-0083 東京都千代田区麹町 4-1-4 西脇ビル 4 階

TEL : 03-5215-5063 FAX : 03-5215-5064

掲載内容の無断転載・再配布は固く禁じます。

配信不要の方はこちらにご連絡ください

info@kaiziren.or.jp